

Composer 初心者の為のアドバイス

Composer を使う上でのファイルの取り扱いや、便利な使い方。また、Composer とは関係無い掲示板を用意する際の手順や、自分で気に入った掲示板 CGI を組み込む場合に知らないで困ること。

ホームページを作る上で容量を極力抑えるのは何の為なのか。画像のファイルタイプによって向き不向きがあり、使い方を誤ると通常より極端にファイル容量が嵩むということなどを説明します。これは Composer に限ったことではありませんし、ホームページを運営する上で知っておかなければならないことも含まれます。

また、余談などを交えてホームページの制作や運営について勉強しましょう。人に教えられるほど記述言語の知識はありませんが、通常の制作や運営において「やってはいけないこと」は覚えて損はありません。

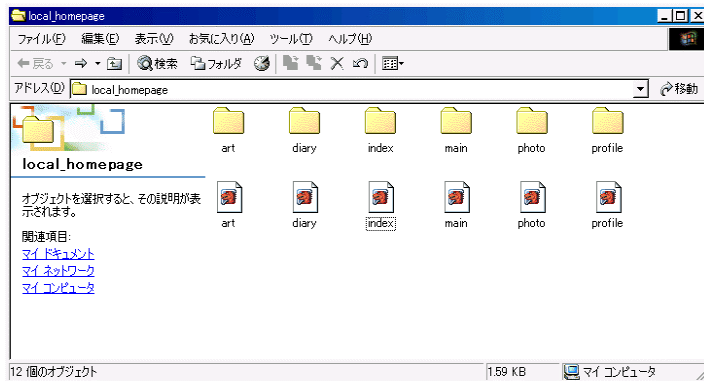
ローカルフォルダなどの準備.....	32
Windows で [送る] に登録.....	33
編集ツール + CGツール + FTPソフト = ホームページ制作環境.....	34
ブラウザから Composer で取り込んだページを編集する.....	35
掲示板の設置 の いろいろ.....	36-42
Composer (Mozilla) の見た目を変える “ テーマ ” の紹介.....	43
用途によって画像のファイルタイプを使い分ける.....	44
ファイル容量を減らす理由 (表示が速いと得をする)	45
人気サイト・過疎サイト.....	46
ホームページの目玉.....	46
ホームページのブラウザ互換.....	46
使えるものはドンドン使おう.....	47
ダウンロード用のファイルを検査してますか？.....	48
ページのバックアップ.....	48
この説明書のようなPDFを作りたい.....	49
WEB素材サイトを利用する場合の注意.....	49
タイトルバナーを作ろう.....	50
クリックするとメーラーが起動する.....	50

ローカルフォルダなどの準備

ホームページを作るにあたり、Composer では下準備が必要です。ホームページは自分のパソコン（ローカル）から、WEBサーバ（ホスト）に転送してはじめてネット上に公開できる訳です。ホームページを作っても、あなたのパソコンにだけあっても意味がありません。

Composer でホームページを作るにあたって、まず、ホームページを編集する作業用のローカルフォルダを作ります。このローカルフォルダそのものは、どこに作成しても構いません。私はどこでも編集できるように **USB メモリー** にローカルフォルダを作成しています。

このローカルフォルダの名前も本人が分かり易ければ何でも構いません。日本語でフォルダ名を作成すると後で何かと不都合が発生する場合がありますので、可能な限り日本語でのファイル名は避け、半角英数で作ってください。



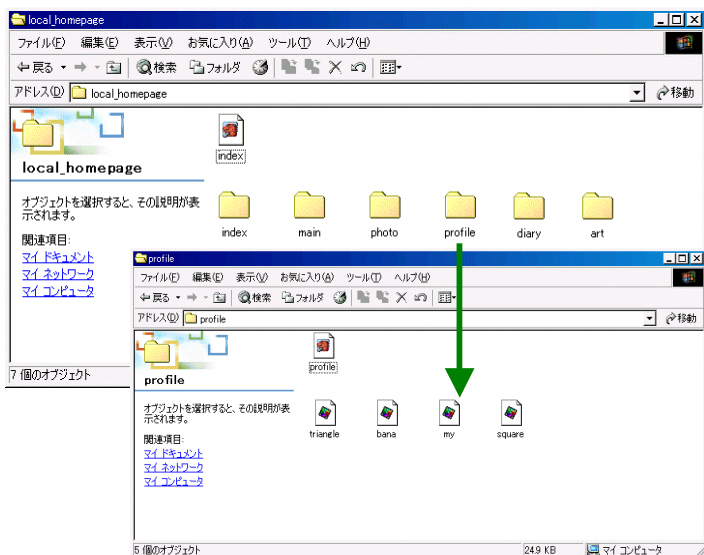
参考1:index.html と各ページをルートに

[index.htm](#) / [index.thml](#) が自分のホームページのトップページになるファイルの名前です。

Indexの他の各ページのHTMLファイルをローカルのルートに置いた場合の例です。

各ページで使用する画像ファイルなどは、ローカルフォルダの中にHTMLファイルと同名でフォルダを作成して整理する方法です。

利点は、各ページのURLが短くなります。



参考2:index.html 以外を全て別フォルダ

別のページのHTMLファイルも、画像ファイルも全部フォルダごとに整理する方法です。

利点としては、ローカルフォルダ内がページ毎にファイルで整理できます。

私はこちらの例に習ってファイルを管理しています。フォルダの名前も分かりやすくしてあるので、何処に何を格納しているのか迷う事ありません。FTPソフトでホームページを転送する場合、ローカルフォルダを指定する機能がありますので、登録しておきます。FTPでホストに接続した時には、右側にローカルフォルダ。左にホストが表示されます。

ホームページと制作環境を持ち運べる USB ストレージデバイス（USB フラッシュメモリー）



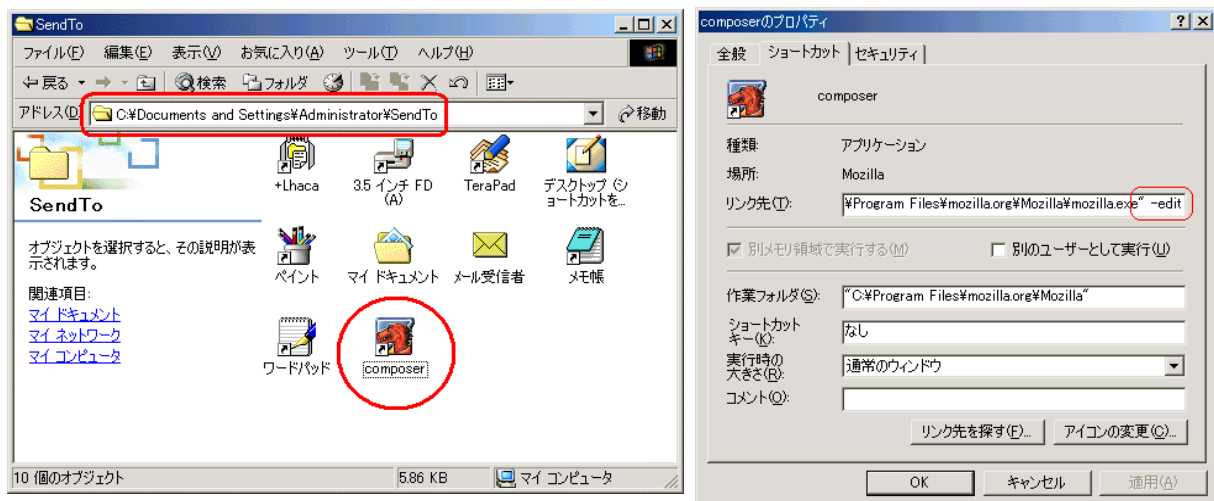
USB ポートに差し込んで使えるフラッシュメモリーです。1本で 64～1GB あります。私の使っているのはコストパフォーマンスが一番高い256MB です。値段の割に容量が大きいので用途別に使い分けて収納すると便利です。

また、デスクトップやマイドキュメントなど "2バイト文字" が入るパスでは動作しなかったり読み込めなかったりするソフトもあるので、USB メモリーなどを利用すると F / G / H / I などのドライブ番号の直下に保存できるので参照する時のパスが短くて済みます。つまり組み立てる時にパーツを探しやすいという事です。考えようによっては、この USB メモリーそのものをローカルフォルダとして使えば、ローカル＝ホストということで FTP ソフトを使ったときの比較も楽です。

私が USBメモリーに入れてあるものは、ホームページのローカルフォルダ / Mozilla Suite / グラフィックツール / FTP ソフト / PDF化ツール…他 です。だいたいローカルを除いて20MB程度です。これらとネットの繋がったWindows パソコンさえあれば何処でもホームページが作れます。

もうひとつ。ホームページを作りたい人のパソコンへ即座に制作環境を構築できるということもあります。普段から使っている分、その場で一通りの説明もできます。また、サイトウィザードが使えないということは、素材やレイアウトも自分で決める必要があり、出来合いのありふれたページを作ることができません。デザインを描いて決めてくれれば大体希望どおりのレイアウトを作ることができます。不便という利点のひとつです。便利は使う側の創意工夫を育てませんが、不便は創意工夫をすることを学びます。不便といっても初心者に対して不便ということです。Composer 自体はかなり合理的なソフトです。

Windows で [送る] に登録



ファイルやフォルダの検索で SendTo を探します。

Windows2000/XPではログインするユーザー名ごとに場所が違いますので近い場所を探してください。

Composerに送るのやり方

デスクトップにあるアイコンのプロパティから

“ 実行場所 ” -edit （半角英数で空白1個入れる）

Mozilla アイコンを composer にリネーム

“ SendTo ” を探して放り込む。

以上。

実行型のファイルであればファイルタイプに応じて好きなものを追加できます。削除は追加時同様に手動でゴミ箱に捨てて終わりです。

送れると便利

拡張子が htm/html などの HTML ファイルが別のアプリケーションに割り当てられてても送ると開けます。

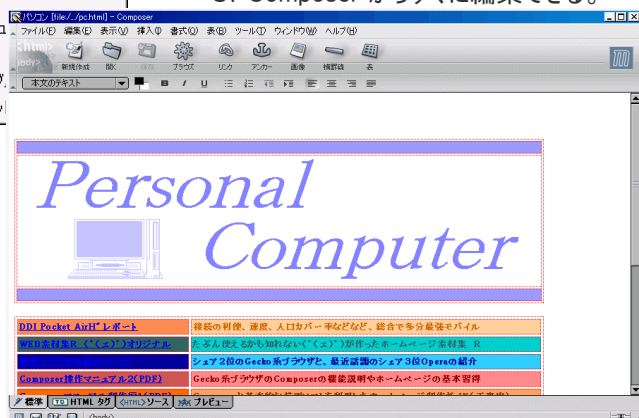


1. 例えば Firefox に関連付けされた HTML ファイルを・・・

2. 右クリックから送ると・・・



3. Composer からすぐに編集できる。



編集ツール + CGツール + FTPソフト = ホームページ制作環境

単純にホームページの制作環境を現すとタイトルどおりです。市販のホームページ制作ソフトは個性を出すため、更にマルチメディアファイルを組み込んだりできます。

売り文句は様々ですが、ページのオリジナリティー、編集操作の効率、コンテンツ容量のコンパクトさ、GUIの分かりやすさ、作業スペースの広さ、IE以外のブラウザとの互換性などと全く関係ありません。殆ど好みの問題ですが、私が購入した1万円前後のメジャーなホームページ制作ソフト4本の中で「これは使える」と感じたのは1本です。

ある程度自分でデザインしたり必要なものを必要に応じて集めたり、利用したりする事ができる人は編集の効率が優先されますから、「作った人が使い易いと自負しているソフト」が「購入者が使い易いと感じるソフト」とは限りません。ホームページを運営するには長く付き合えるソフトを選ぶことが第一です。

Composer は、「ワープロ感覚で手軽に使える」ということ、「製作者の創意工夫次第でどうにでもなる」というソフトです。機能は使ってみると分かると思いますが、必要なものが最低限そろっているうえに自分好みの他のツールを上手く組み合わせることで使い勝手は良くなります。

なぜなら、Composer そのものは「ホームページの組み立てに特化しているソフト」であって、「なんでもできるパッケージソフト」では無いからです。これは重要な事です。

例えば、Aソフトは編集機能は便利ですが画像を編集するソフトが非常に使い辛い。Bソフトは画像を編集するツールが最高だけど、ページの編集をするツールが分かり辛く使い辛い。Cソフトはウィザードやマルチメディアファイルの挿入が簡単で殆ど知識は要らないけど、IE以外ではまともに閲覧できない。Dソフトは知名度も高く高性能だけど編集画面が非常に狭い。

欲しい機能をそれぞれから少しずつ貰って完璧な編集環境を作るのはできますが、4本買って全部インストールし、必要な機能を単体で使うくらいなら自分の使いやすいフリーソフトをチョイスして自分だけの編集環境を構築した方が安上がりで使い勝手も良くなります。使い辛いソフトに自分を合わせる必要はありません。昔と違って今は優秀なフリーソフトが大量にあります。是非、ツールは自分で探して使ってください。

HTML 編集ツール

Mozilla Composer / Nvu などの多彩な文字コードで保存できる WYSIWYG エディタ+テキストエディタ
TraPad などのソースを崩さず、文字コードセットを勝手に変更しない万能テキストエディタ

ペイントツール

絵を描く為のツールなので、ペン・ハケ・バケツ・スプレー・直線・円・四角・など基本ツールが必須。
エフェクト(特殊効果)はフォトレタッチソフトに任せるとい事も視野に入れた方がベスト。
とりあえず、使いやすい事が重要。アンドゥ(戻す)・リドゥ(戻すの取り消し)の回数は多いほうが良い。

フォトレタッチ

写真を加工したり、エフェクトを与えるソフトです。写真の写りが悪い時に補正できます。
写真をホームページに使用する際にJpegファイルの圧縮率を変えられ、容量を減らすことができます。
描いた絵や写真を絵画風にしたり、クレヨンや色鉛筆、水墨画風に加工できます。
テクスチャーを使って砂、キャンバス、麻布などの質感を与える事ができます。

GIFアニメーションツール

ペイントソフトなどで描いたコマ絵を連続して張り替えることで絵がアニメーションします。
複数の絵を切り替えるタイミングをコマ数秒単位で指定できます。
ループ回数を1回、または無限回数で指定できます。
レイヤーなどの操作よりもGIFアニメーションウィザード機能があれば誰でも簡単に作れます。

FTPソフト

ホームページをローカル(自分のパソコン)から、ホスト(インターネット上のサーバ)へ転送するソフトです。
ファイルを単体もしくは複数同時、またはフォルダごと一気に転送できます。
CGIやPHPを転送したあとで、ファイルのパーミッション(属性)を簡単に書き換えられます。
ファイルをアップロード(ローカル→ホスト)、ダウンロード(ホスト→ローカル)、削除、リネームができます。

その他(テクニックの幾つかです。何の説明なのか考えてください)

Excel や Word で ”ワードアート” を作る → コピー → Paint に貼り付ける → 背景を透過
フリーフォントを集めまくる → ペイントソフトで文字の挿入 → 適度に配置を変更 → 配色
花や葉を輪郭に沿って切り取る → ランダム配置 → 下を上、右を左に切り貼り → エフェクト → ページの背景に指定
枠線Oピクセルでセルに背景色指定。上手く利用すると画像を使うより読み込み速度が上がり、容量は半分以下。

ブラウザから Composer で取り込んだページを編集する

ページのレイアウトで参考になるホームページがあったらComposerに取り込むことができます。

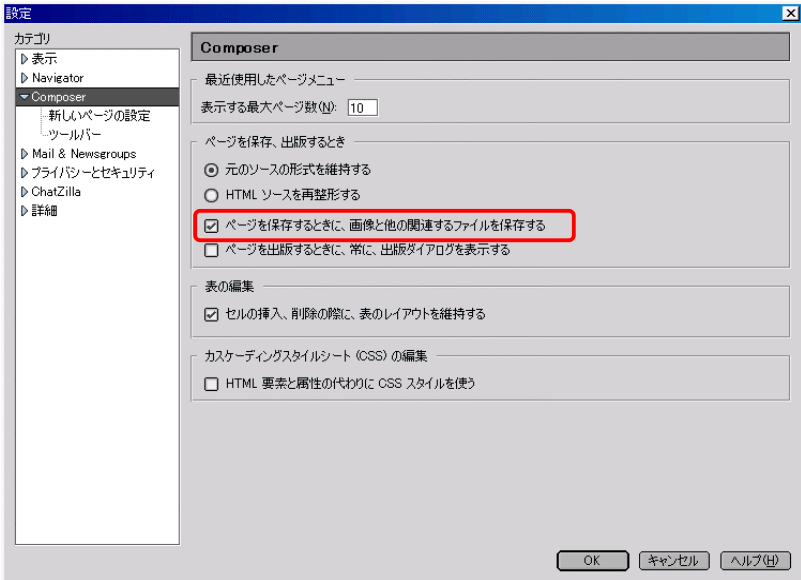
ファイル → ページを編集



ページが Composer に取り込まれました。ここから編集する事ができます。



ページを保存する時に、画像と他の関連するファイルを保存する



勘違いし易いですが、これは「Navigator(ブラウザ)から取り込んだページを保存」をおこなう場合の条件です。普段は、ページを作成するための素材は予め全て用意し、後から指定する予定の場所に揃えておきます。

掲示板の設置 の いろいろ

掲示板の設置に関しては Composer は使用しません。掲示板へのリンクをページに貼るくらいです。市販のホームページ制作ソフトの中には自社のサーバーに無料ホームページスペースやレンタル掲示板を置いている所があります。

それらは特に苦労も無くホームページを公開でき、掲示板もホームページに置く事ができます。容量は10MB かそこらですから、写真を山ほど置こうと思ったらあっという間に無くなる容量です。

「市販のソフトには掲示板の設置までサポートしているものがあるのに Composer は不便ですね。」なんて思うのはまだ早いです。レンタル掲示板は設置が楽な反面、自由度が低く広告が入るものが多いです。もちろん、有料で貸し出される掲示板には広告は入りませんし、優秀なものも多いのですが、自分で設定できる部分が限られてしまうのも事実です。

そこで Composer のユーザーには「自分で選び・自分でカスタマイズする自由な」

無料ホームページスペースからレンタル掲示板を借りる → 設置する

無料ホームページスペースとレンタル掲示板は、維持費は掛かりませんが、提供する会社は広告を表示する事で料金を広告主から貰って運営します。当然、ページや掲示板の中に様々な形で広告が入ります。見栄えを損なう巨大なものから、目立たないテキストだけのものまで様々です。

ここで気をつけてください。借りたホームページスペースの広告が気に入らないからと言って、掲示板だけ他のレンタル会社から借りてくる事はできません。掲示板だけ貸す方の会社は殆ど煩くはありませんが、無料ホームページスペースを提供している会社には禁止しているところがあります。そういう場合には、無料ホームページスペース側のレンタル掲示板を利用しましょう。

また、無料ホームページスペースのレンタル掲示板の中にはキャパシティの低いサーバーもあり、アクセスが集中して掲示板だけ長時間使えないという事もあります。もちろん、デザインは色の変更しかできないものも…。

そんな時はほぼ全ての無料ホームページスペースで許可されている CGI「Perl」を設置してしまいましょう。自分のホームページが正常に閲覧できる時は問題なく使えます。ホームページは閲覧できても掲示板が混んで使えないという場合は自分で自分のスペースに掲示板を持つほうが確実です。

レンタル掲示板を借りる(一般的な場合)

1. お好みのレンタル会社を選択し、申し込みページに行く。
2. 普通はメールアドレスや住所氏名電話番号をフォームに入力する。
3. メールアドレスにレンタル会社からメールが届く。
4. 本人確認の為にメールを返信する。
5. 本登録が終わって、掲示板のアドレス(<http://----->)が届く。
6. ホームページの編集に、
(例)
貰った掲示板URLをブラウザで一回開いてみる。普通は貰った掲示板が動作する。
掲示板 と入力し、**掲示板** をドラッグした状態で「**リンク**」をクリックする。
リンクの 場所 に貰った**URL** を貼り付けて「**OK**」をクリックする。
FTPでページをアップロードする。
アップロードされたページから掲示板をクリックして、実際に掲示板が機能するかテストする。
7. 管理について
(例)
本登録後のメールには、URLの他に管理パスワードが添付されている。
管理画面を開く時、または管理画面に移動する前にパスワードを入力することで管理できる。
管理は、投稿の編集・削除・アクセス制限・掲示板の配色や背景、タイトル画像の設定などができる。
8. 規約: 各レンタル会社の規約に従います。
普通は、投稿した内容によって第三者が受けた被害に関しては借りた本人が責任を負います。
通常は、削除依頼に応じて直ちに削除した場合は殆どそれだけで済みますが、そうでない場合もあります。
掲示板の管理者は、投稿に関して責任を負う。投稿者には発言によって負う責任がある旨を記載する。
※普通のお客さんは常識的。しかし、稀に掲示板荒らしや個人情報を書き込む馬鹿もいるので注意。

Composerの出番は赤い文字の部分だけ。

無料・有料スペース / レンタルサーバー でのCGI設置

自力でCGIを設置する方法を説明したいと思います。この説明はComposer とは全く関係ありませんが、覚えておいて損はありません。

CGIの設置は、FTPソフトを使用しての作業が殆どです。Composer はFTP機能が貧弱なので別途用意する方が大変効率が良いのです。また、Composer のFTPではCGIを設置する事はできません。パーミッション書き換えや複数の階層に対応していないからです。

私もPDF版のCGI設置マニュアルを作っておきたかったので、良い機会です。いつもはFFFTPという国産FTPソフトを使用しての説明でしたが、Mozilla Firefox に対応した fire FTP というXPI がありますので、そちらを使って説明したいと思います。

用意するもの

使いたい掲示板(CGI プログラム) 今回は <http://www.kent-web.com/> から Joyful Note をピックアップ
こちらは設置に必要なパーミッション

普通のFTPソフト(手動操作が基本) 今回は Firefox と <http://fireftp.mozdev.org/> から fire FTP

International 版 は文字化けするので English 版をインストールします。
Firefox1.0からこのページを表示し、Install 0.8x.xbeta (English) の方をクリック。
インストール確認のウィンドウが出たらインストールを選択。
Firefox を再起動すると fire FTP が使えるようになります。

アップロード先のホームページスペース(有料でも無料でも) 今回は [Infoseek](#) iswebライト

iswebライトのパーミッション設定はCGIプログラムの指定するパーミッションで使用する良いので説明が楽♪

作業手順1: 解凍後にフォルダを作成、適宜ファイルを移動する。

CGI設置に伴い、CGIプログラムには以下のようなディレクトリ(階層)の構造が表示されています。

【ディレクトリ構成例】

```

public_html / index.html (トップページ等)
|
+-- joyful / joyful.cgi [705]
|           joyfullog.cgi [606]
|           count.dat [606]
|           jcode.pl [604]
|           cgi-lib.pl [604]
|           pastno.dat [606]
|
+-- img [707] / home.gif
|              soon.gif
|              clip.gif
|
+-- past [707] / 1.dat [606]
|
+-- lock [707] /

```



ダウンロードして

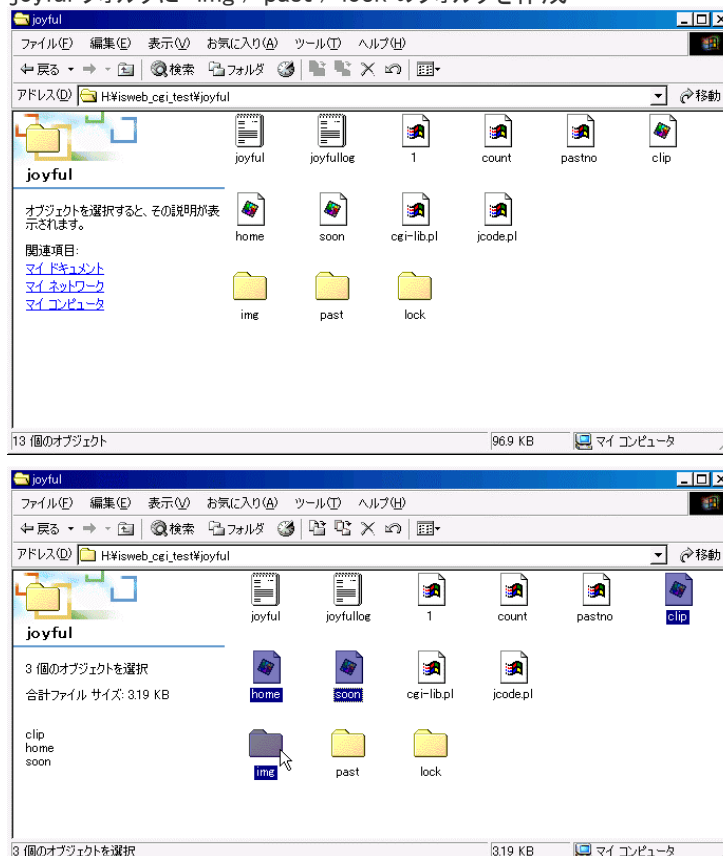


解凍する

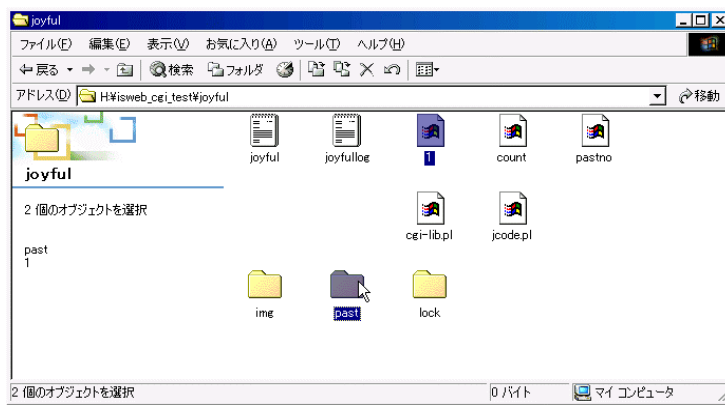
public_html ホームページ転送先のルートフォルダです。
 その下に joyful フォルダを置いてください。(ホームページスペースに指定があれば別問題)

joyful フォルダには	joyful.cgi	属性	705
	joyfullog.cgi	属性	606
	count.dat	属性	606
	jcode.pl	属性	604
	cgi-lib.pl	属性	604
	pastno.dat	属性	606
	img フォルダ	属性	707
	past フォルダ	属性	707
	lock フォルダ	属性	707
	img フォルダ には	home.gif	属性 指定なし
		soon.gif	属性 指定なし
		clip.gif	属性 指定なし
	past フォルダ には	1.dat	属性 606
	lock フォルダ には	何も入れない	

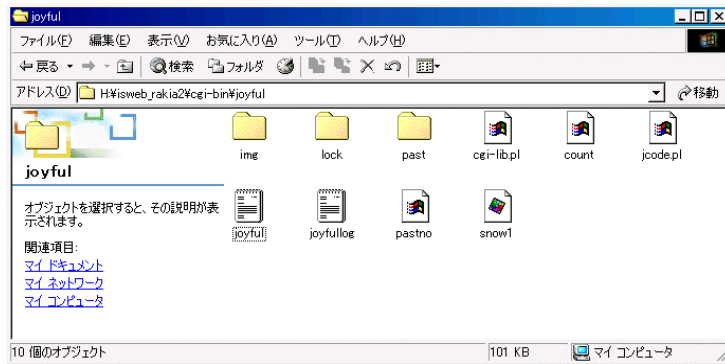
joyful フォルダに img / past / lock のフォルダを作成



clip.gif
 home.gif
 sppn.gif
 を
 img フォルダに移動

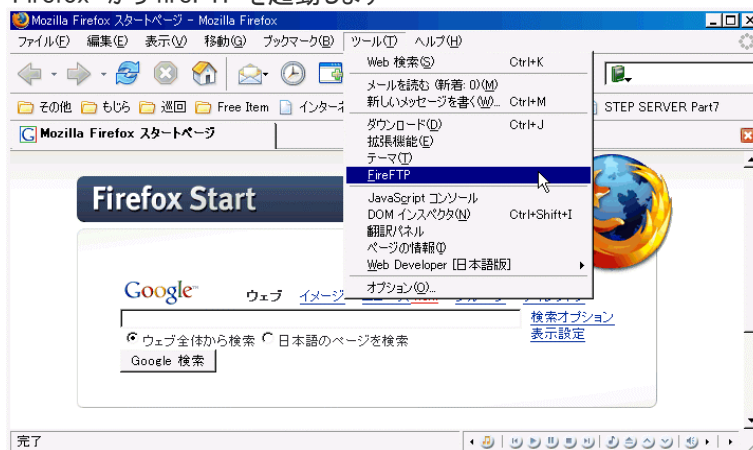


1.dat
を
past フォルダに移動

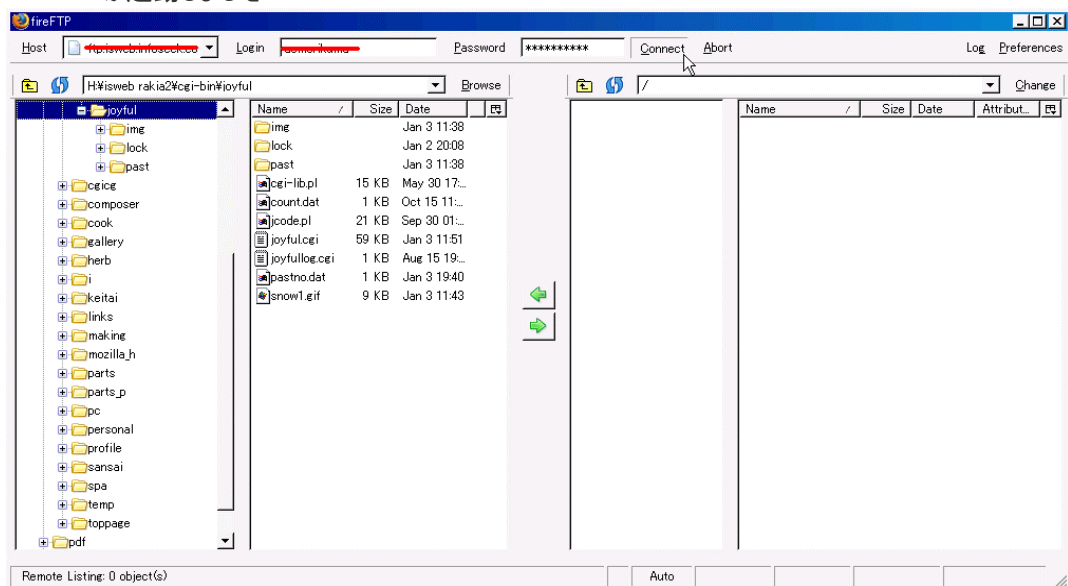


背景GIFとして
snow1.gif
を用意

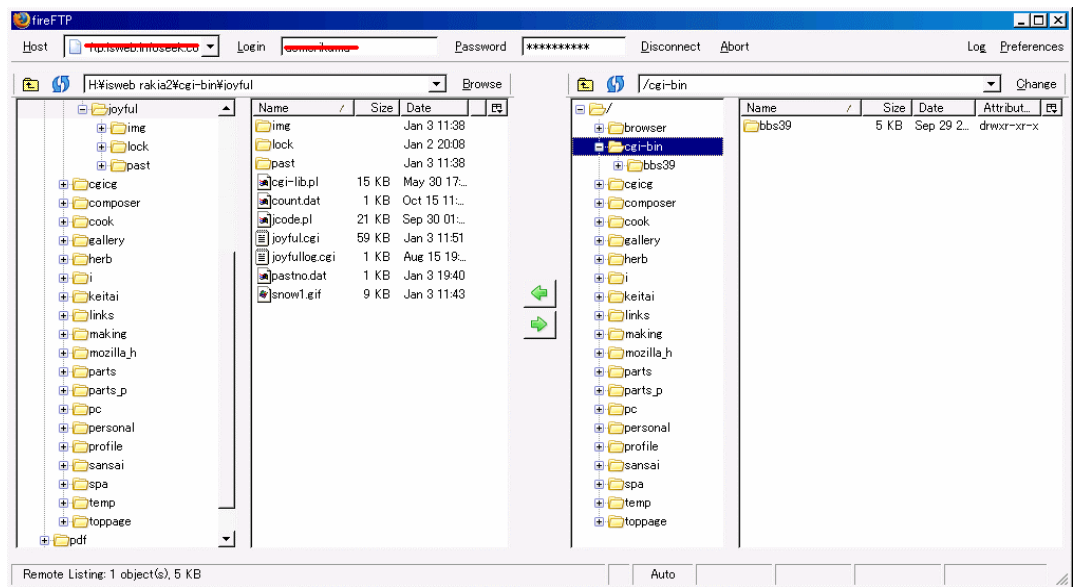
Firefox から fireFTP を起動します



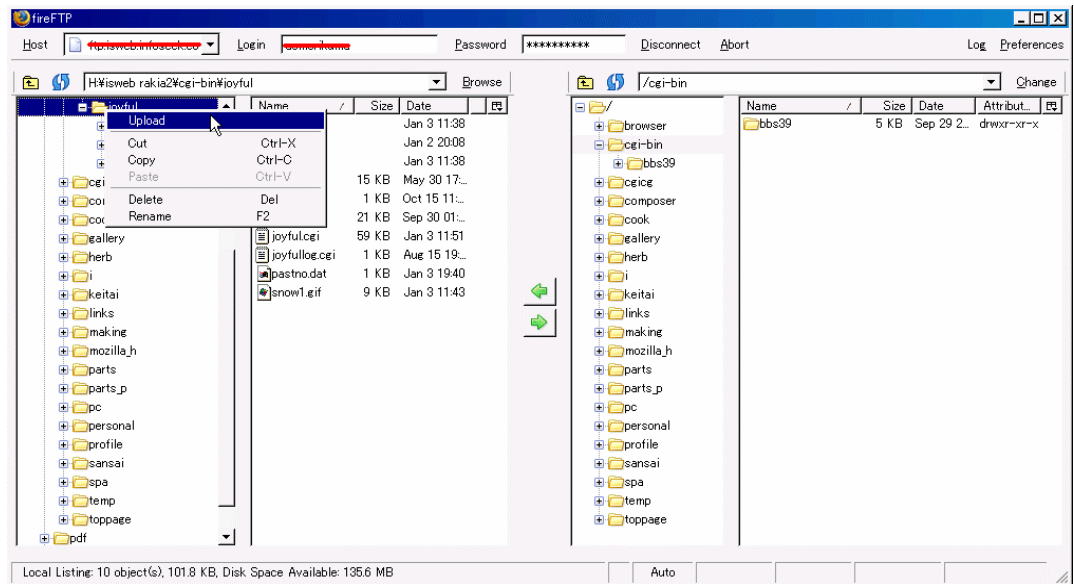
fireFTP が起動しました



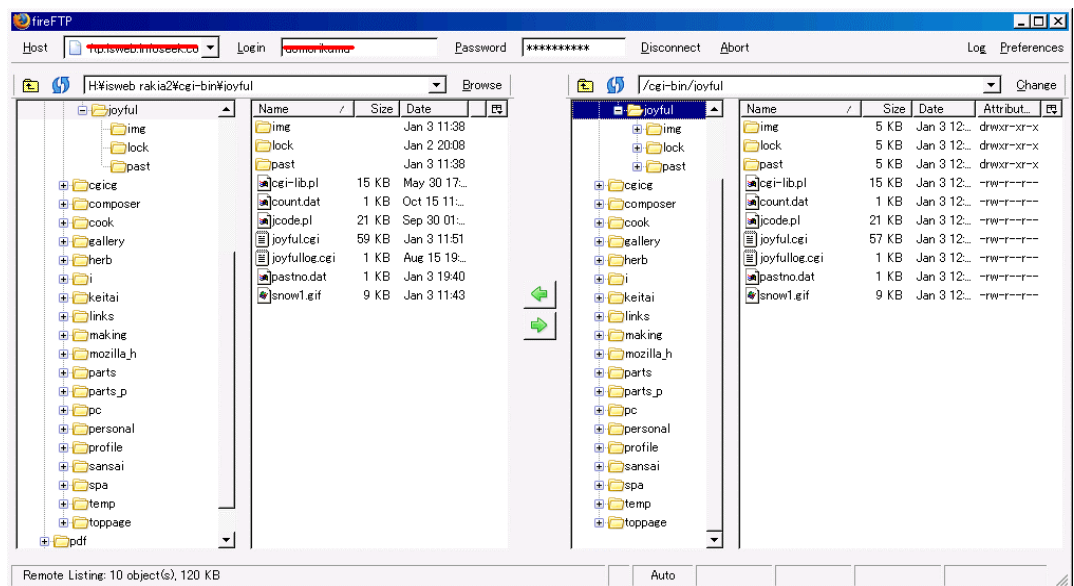
Host FTPサーバー名
Login ユーザーID
Password パスワード
この3つを設定し、[Connect] ボタンで接続できます。



転送先の cgi-bin フォルダ (isweb ではCGIの設置場所が決まっている) をホスト側(右)に表示



joyful フォルダを 右クリック→Upload する。(cgi-bin フォルダに転送される)



joyful フォルダがホストへ転送できました。

CGI の設定を必要に応じて書き換える

1. joyful.cgi を クリックして テキストエディタで開く
2. 以下の設定部分の書き換えは多分必須。

赤い文字のコメントを参考にしてください。

青い文字は数値やURLのヒントです

```
#-----
# 設定項目
#-----

# タイトル名
$title = " 掲示板の名前 ";

# 壁紙を指定する場合 (http://から指定)
$bg = "";

# 戻り先のURL (index.htmlなど)
$homepage = "面倒ならトップページへのアドレス";

# 最大記事数 (親記事+レス記事も含めた数)
$max = 50; 1画面に表示する記事数

# 管理者用パスワード (英数字で8文字以内)
$pass = '0123'; 管理用に必要です

# タイトルにGIF画像を使用する時 (http://から記述)
$t_img = "";
  掲示板のタイトルに画像を使う場合の項目。
  画像ファイルの参照先として joyful.cgi と同じ
  フォルダに入れるなら画像ファイル名だけで可

$t_w = 180; # GIF画像の幅 (ピクセル)
$t_h = 40; # " 高さ (ピクセル)
  タイトルに使用するGIF画像ファイルの
  ピクセル数 W=幅 h=高さ

# アップロードディレクトリのURLパス
# → パスの最後は / で終わること
$imgurl = "http://www.xxx.xxx/~xxx/img/";
  この部分は トップページ/cgi-bin/joyful/img
  CGI置き場に cgi-bin のフォルダを作成する前提

# アップロードを許可するファイル形式
# 0:no 1:yes
$gif = 1; # GIFファイル
$jpeg = 1; # JPEGファイル
$png = 1; # PNGファイル
$text = 1; # TEXTファイル
$lha = 0; # LHAファイル
$zip = 0; # ZIPファイル
$pdf = 1; # PDFファイル
$midi = 1; # MIDIファイル
$word = 0; # WORDファイル
$excel = 0; # EXCELファイル
$ppt = 0; # POWERPOINTファイル
$ram = 0; # RAMファイル
$rm = 0; # RMファイル
$mpeg = 0; # MPEGファイル
$mp3 = 0; # MP3ファイル
  この数字で 1 が許可 0 が拒否

# 投稿受理最大サイズ (bytes)
# → 例 : 102400 = 100KB
$cgi_lib`maxdata = 102400;

  1KBは1024バイトです。50KBまで許可なら 51200

# 画像ファイルの最大表示の大きさ (単位 : ピクセル)
# → これを超える画像は縮小表示します
$MaxW = 300; # 横幅
$MaxH = 150; # 縦幅
```

私の場合 "(^エ^)" 画像BBS Lite" に変更

"snow1.gif" を指定しました。
snow1.gif はjoyful フォルダに入れています。
この場合は joyful.cgi と同じ場所なので、
単に ファイルネーム+拡張子 だけで済みます。

私の場合
http://aomorikuma.hp.infoseek.co.jp/

1画面に親スレッド含めて50件のレスを許可

忘れ難く、他の人に分かり難いものを半角英数で

私は指定しませんでした。
タイトルに画像を指定したい場合は、
joyful フォルダ直下に入れて、ファイルネーム
だけを直接指定しても構いません。

画像のサイズを予めペイントソフトなどで
確認しておいてください。
単位はピクセルです。

joyful.cgi というファイルから見た img フォルダ
の位置です。img は joyful.cgi と同じフォルダ内
に入っていて、img フォルダの中に入れるという
意味だから、img/ と書いて img の中という意味に
なります。だから

"./img/" これでOKです。

ここからはアップロードを許可する
ファイルタイプの ON/OFF です。
1が許可 0が拒否です。

アップロードを許可するファイル容量です。
今は100KBですが、50KBですと51200となります。
1KBは1024ですので簡単に計算できます。

デジカメやパソコンの画面は基本的にTVと同じ

4:3 です。 私は 320:240 に指定

レンタル掲示板と違い、自作CGIとして個人や企業が無償配布している掲示板CGIには優秀なものが多いです。
ここで説明した方法の応用で全て同じように設定していけば簡単に利用できます。

難易度が低く、詳細設定をブラウザから行えるCGIや、難易度が高く非常に高性能なものまで色々です。

また、配色や配置の指定、リンクの色や写真の並び方、サイズなど細かくユーザーが指定できるのも魅力です。

CGIのプログラミングを覚えたら既存のCGIを改良して作者に還元している人も居ます。

CGIと効いただけで尻ごみする気持ちはよく分かります。ですが、今回の説明のように設置や設定変更だけなら誰でもできます。

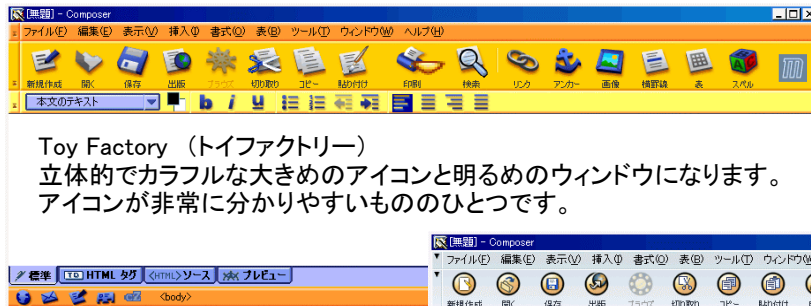
これを機に、レンタル掲示板を卒業して自力で自分のページにCGIを設置できる人が増えれば書いた甲斐があります。

Composer (Mozilla) の見た目を変える “テーマ” の紹介

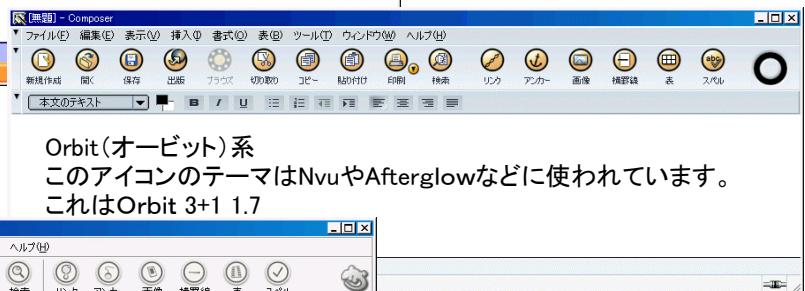
Mozilla製品はテーマ(theme)という名前で呼ばれる「見た目を変えるスキン(皮)」があります。Mozillaのテーマも色々用意されていますので、作業効率に影響するかどうかは別として使ってみては如何でしょうか。

テーマを入手するには、
[メニューバーの編集] から [カテゴリーの表示] をクリックし、[テーマ] を選んで [ウィンドウ下] の [新しいテーマを入手]
というリンクをクリックしてください。

ブラウザが起動して、テーマを配布している3つのサイトが表示されます。その中から自分のMozillaのバージョンに適合するテーマを選んで **install** をクリックします。あとは画面の指示に従ってください。インストールが終わると、先ほどのウィンドウにインストールしたテーマの一覧が表示されます。それを選択してからMozillaを再起動するとテーマが入れ替わっています。尚、Composer に対応していないテーマもあります。



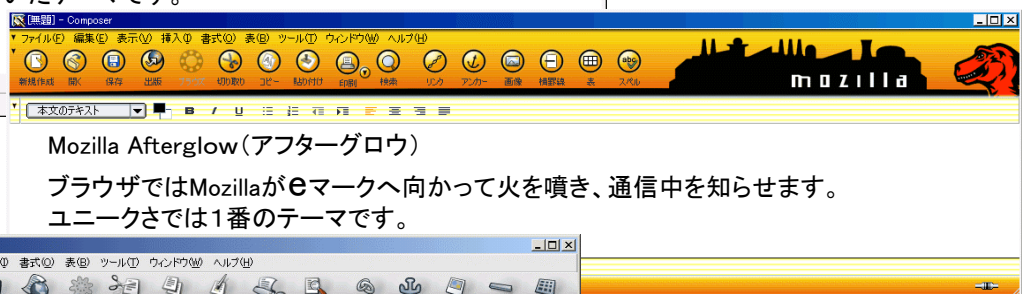
Toy Factory (トイファクトリー)
立体的でカラフルな大きめのアイコンと明るめのウィンドウになります。
アイコンが非常に分かりやすいもののひとつです。



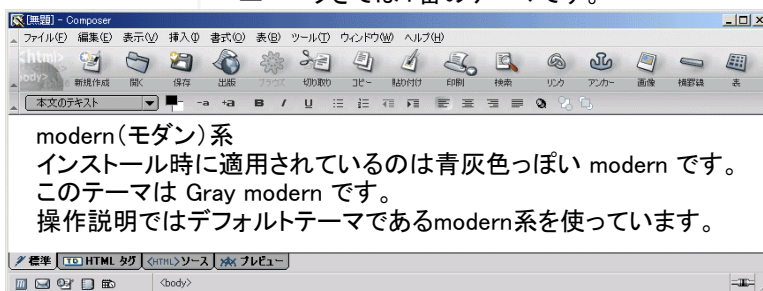
Orbit(オービット)系
このアイコンのテーマはNvuやAfterglowなどに使われています。
これはOrbit 3+1 1.7



smoke(スモーク)
淡色の落ち着いたテーマです。

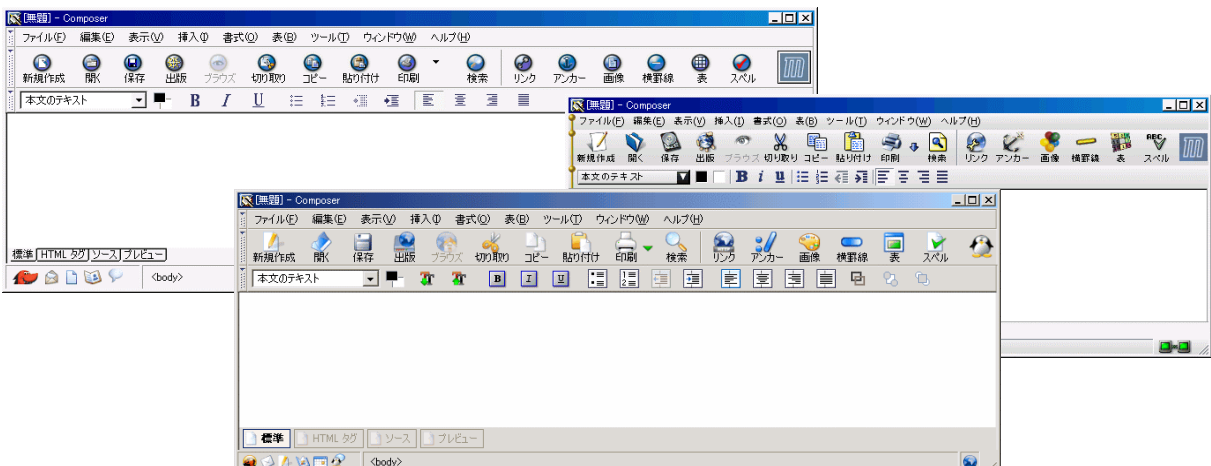


Mozilla Afterglow(アフターグロー)
ブラウザではMozillaがeマークへ向かって火を噴き、通信中を知らせます。
ユニークさでは1番のテーマです。



modern(モダン)系
インストール時に適用されているのは青灰色っぽい modern です。
このテーマは Gray modern です。
操作説明ではデフォルトテーマであるmodern系を使っています。

その他のテーマ



用途によって画像のファイルタイプを使い分ける

画像ファイルは、その用途によってファイルタイプを使い分ける必要があります。何故なら、写真には写真向きの画像ファイルがあり、ホームページのパーツにはパーツ向きのファイルタイプがあります。使い方を間違えると容量が嵩んだり、画像に滲みが生じます。効果的に使うなら覚えていて損はありません。また、使いどころを間違えると酷いことになります。

ジェイペグ	多色の画像に最適な画像ファイルです。写真に使うのが最も適しています。
JPEG/JPG	圧縮率を変更できます。デジカメで撮影した画像は劣化が無い100%の場合が殆どです。 一般的にホームページで使う最高画質は70%が上限です。これだけでもかなり容量が減ります。 明るめの画像 70% ←→ 50% 暗めの画像 このように暗い写真では粗が出にくいので精度を落とせます。
ジフ or ギフ 岐阜ベ(α)/"あう?	256色モードまたは、それ以下の色数の場合において最高の圧縮率を誇ります。
GIF	使える同時発色数は 2/4/8/16/32/64/128/256色です。色数が少ないほど圧縮率も向上します。 ホームページのボタンやバナー、背景模様、ボタン等に最適です。色の無い部分を透過させることもできます。 複数の画像を指定したタイミングで切り替えるアニメーションGIFというものもあり、大変便利です。
ピーエヌシー or ピング	Portable Network Graphic の略でGIFと同じ使い方ができます。
PNG	使える同時発色数は 256/フルカラー の2種類です。圧縮率が変えられます。 小さいほどGIFより容量が小さくなり、大きいほどGIFより大きくなります。 フルカラーが使えるという点で勘違いされやすいのですが、写真に使うとJPEGよりファイルが巨大化します。

これは誤った使い方

[写真にGIFを使っている]

減色されてボサボサした写真になってしまいます。規則的な模様に対しての圧縮率が高い画像形式なので、写真に使うとドットが不規則な配置になり圧縮率が極端に悪くなります。わざと油絵調にする場合にはGIF化した画像を再度JPEG形式に戻さなければ容量だけが嵩んでしまうでしょう。

[FLASHの代わりにアニメGIF]

数色でコマ数が少ない場合はアニメーションGIFの方が容量が低く向いてはいますが、256色モードで不規則な模様の入った画像をふんだんに使った長編アニメーション並みのタイトルバナーを見かけることがあります。

容量もケタ違いで、タイトルバナーだけに15MB以上使っているところもありました。パラパラアニメとしてGIF形式を使っている場合もありますが、通常は数十MBの画像ファイルをページに使用しません。また、このような場合はダウンロード用に使うのが普通です。

仮にナローバンドで15MBだとそれを表示するには20~30分掛かるいことがあります。閲覧者の回線をブロードバンドに限定しているのならそれで構いませんが、世の中まだまだ秒間4KB~16KB(32kbps~128kbps)という低速回線の人が大勢います。予告無く巨大なファイルをページに組み込むのはやめましょう。使う場合はスキップできるようにしておくのがエチケットです。

[ページの装飾パーツにJPEG]

ボタンやページの装飾に使う画像でJPEGを使っている人がたまにいます。数色しか使っていないページのパーツに精度を下げた70%以下のJPEGを使った為にパーツが滲んでしまっで見栄えが悪いです。

グラデーションが掛かったパーツを使用する場合はJPEGでも構いませんが、8ビット色(256色)以下のパーツは、GIFかPNGを使うのが容量もコンパクトで実用的です。ページの背景に写真としてJPEGを使うのは効果的ですが、使いどころを誤ると輪郭がぼやけて滲んだ見栄えが悪いページになってしまいます。色がハッキリ分かれているパーツはGIFやPNGで。写真や多色の画像はJPEGという具合に使い分けてください。

[精度100%のJPEGだらけ]

写真を取り扱ったサイトでたまに見かける間違いです。JPEGを圧縮して精度を落とす方法を知らないことで起きます。通常は70%程度あれば写真として十分な美しさを確保できます。大目に見ても80%が限界でしょう。

JPEGを保存する時に%指定できるオプションがあります。これで画質を落として大幅に容量を減らすという事が可能に。

それを知らずにデジカメで撮影した画像をそのままページに貼り付けて、ページに表示する時には更に縮小表示という二重違反をしている事もあります。ブラウザから写真を強制的に縮小表示すると輪郭が荒れて見栄えが悪くなりますから、100%の高画質JPEGを挿入している意味が全くありません。

見てもらう写真は見せたい大きさに予め縮小して貼り付けるのが最良です。精度70%と100%のJPEGは液晶画面では殆ど差が分かりませんが、容量は写真によって3分の1以下になります。容量が小さいという事は閲覧者を待たせる時間も短く済むという事に気付いてください。また、小さな写真をクリックすると大きな写真が表示されるようにしたい場合はサムネイルという小さな画像を予めボタンとして用意し、それに大きな写真をリンクするのが親切です。

[ボタンとして使わないのに画像をコマ切れ]

しかもボタンとして使わず、CSSの「どこでも配置」を利用して1枚の絵に整形しているのを見たことがあります。これは全く意味がありません細切れにする労力と、表示するために複数のファイルを読み込むことで通常の1枚絵より多くの時間が掛かります。

ある部分だけをリンクのボタンとして使いたいのなら、大きな絵をページや表の背景として使用し、手前の画面に透明なGIFだけでボタンを配した方が表示時間も短く効果的です。1ページで扱うファイル数は多ければ多いほど読み込み時間が長くなるので注意しましょう。

どこでも配置モードはCSSで使える機能で、通常は有り得ないのですがブラウザごとに表示が微妙に違います。一箇所に集中してしまう事もありますし、表示されない事もあります。それよりはHTMLで表の背景とセルの背景などを利用した方が確実に表示が崩れる心配もありません。

ファイル容量を減らす理由（表示が速いと得をする）

言い換えますと人気サイトならブロードバンド向けのホームページほどお金が掛かるということです。理由は単純です。会社や行政のホームページですと、広告費として自前のサーバーと回線を利用して大量のデータも問題ないでしょう。しかし、個人や中小企業のホームページですと同じことは当てはまりません。

理由はデータの転送量です。あるホームページサーバーは1日の上限が5GBだとします。また1万アクセスが限度ということもあります。仮に前者の例えを式にするとこうなります。

貴方のホームページを訪れる人が巡回するページの平均は容量で大体1MB(1000KB)程度だとします。

しかし、色々と工夫して、同じ情報を700KBで作れるとしたら、1人につき300KBものデータが浮きます。

これを1日あたり5GBの上限に当てはめて閲覧可能な人数を割り出します。

5GB=5000MB=5,000,000KB(概算)

1MBの場合・・・ 5,000,000 ÷ 1,000 = 5,000人が1日の限界です

700KBの場合・・・ 5,000,000 ÷ 700 = 7142人が1日の限度です。

10,000人が限度の場合、700KBなら 7,000,000(7GB)の転送量です。一時的なら微妙な数字です。

10,000人が限度の場合、1,000KBなら 10,000,000(10GB)の転送量です。即退場でしょうね。

仮に貴方のホームページに大きなファイルを置いたとしましょう。動画であったり、MP3などの音声ファイルなどは特に単体で容量が大きいですね。このファイルを仮に1曲4MBの音声ファイルに換算しますと・・・

5,000,000KBが限度とし、1250人以上がダウンロードしたらサーバー提供企業から退場を食らいます。

しかし、音質を半分にしたり、モノラル音声にすると半分の2MBですから、2500人がダウンロードできます。

ホームページスペース提供企業によってこの限度というものが違います。ですから各サービスには幅があります。短期的にアクセスが集中した場合において柔軟に対応してくれる企業もあれば、問答無用に契約を切られる場合もあります。

5GBというのはあくまでも例です。1～2GBの転送量でも悲鳴をあげるサーバーだってあります。そう考えると1日に1000アクセスでも、内容が濃いホームページだったり、1ファイル当たりの容量が大きなサイトだと致命的です。

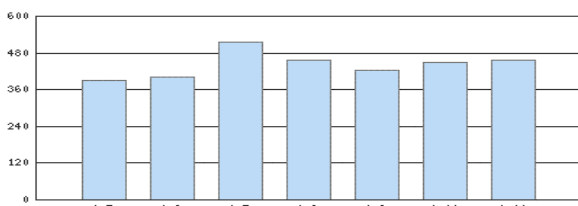
高価なサーバーですと上限も高く、転送量に関しては煩く言わないところもあるかもしれませんが。人気が出ると転送量も自動的に増えます。だからページ当たりの容量を可能な限り減らすと転送量も減り、最終的には限られた容量の中で、より多くのページを公開でき、ページ当たりの容量が減ることで低速回線のユーザーも快適にページを閲覧できる事になります。

人気が出てきて毎日たくさんの方が来てくれるようになったとたんにサーバー管理者から規約違反で契約を取り消される事だって有り得ますから・・・ ちなみに私がメインで使用している iswebライトのアクセスログをお見せしましょう。

アクセスログ

日付	ページビュー	リクエスト数	転送量(KB)
1月 5日(水)	392	1,868	34,874
1月 6日(木)	400	1,963	44,921
1月 7日(金)	515	2,112	44,411
1月 8日(土)	458	2,334	45,816
1月 9日(日)	425	2,354	29,992
1月10日(月)	448	3,076	41,845
1月11日(火)	455	2,469	31,027
合 計	3,093	16,176	272,886
平 均	441	2,310	38,983

● ページビュー



カンタン! しかも高性能! あなたのホームページを isweb で作ろう!

iswebは約160万人のユーザーが登録する、国内最大級のホームページベースサービスです。大容量で多機能、しかもCGIも使用可能な充実した機能で、あなたのホームページ作成をサポート!

無料でお手軽な isweb ライト

iswebは2つのプランからお選びいただけます!

高性能でさらに大容量な isweb ベーシック

isweb ライト ▶ 詳細はこちら

料金はもちろん無料! ※広告非表示オプションは有料です

- ・ 広告表示有/無(広告非表示オプションで非表示もOK!)
- ・ 容量50MBでCGI(Peri)のみ使えます
- ・ おまけツールも充実しています
- ・ おぼえやすいショートURLが使えます

➡ **今すぐ申し込む**

広告非表示オプション ▶ 詳細はこちら

年会費 3,150円(月換算 263円)で広告がはずせます!

- ・ URLの変更無し、メルマガも停止OK!
- ・ isweb 無料のいいところをそのままに!

➡ **今すぐ申し込む**

※広告非表示オプションはiswebライトの専用オプションです。

トップページのアクセスカウンターは気にしないでください。あれはトップページにアクセスした人の人数だけです。ですから正確な訪問者数ではありません。実際には何人訪問者があるのか把握していません。このファイル数だとWEB素材か地元の写真でしょうね。アクセス解析でも契約すれば訪問者数も分かると思いますが、そこまで必要性はありません。実際の訪問者数を別としてここで注目していただきたいのは、リクエスト数(参照ファイル数)やページビューに対して転送量が極端に小さい事です。これが私のページの特徴です。ファイルひとつひとつの容量が小さいからです。

仮に10000人訪問したとして、400人の25倍。39MBの25倍でも975MBです。10000人が訪問しても転送量は微々たるものです。

広告が上下に入るとい点と広告メールを受け取る義務がありますが、無料のホームページサービスの中では安定性に定評があり、また、無料スペースでは数少ない「1ファイル当たりの容量に制限が無い」という特典があります。ですから、こんな大きなPDFファイルを安心して置けるというわけです。他はせいぜい300KBが限度です。300KBですとFLASHや大き目のJPEGファイル。MIDIファイルや数ページのPDFしか置けません。iswebの契約者数が160万人と国内最大級なもの納得です。ダウンロード用のファイルサイズに容量の制限が無い無料サーバーで安定した運営ができる所はそんなに無いでしょう。

人気サイト・過疎サイト

人気サイトと過疎サイトの違いは、閲覧する訪問者と情報を提供する運営側の需要と供給の関係に比例します。Googleのページランクは、そのページに対する外部サイトのリンク数らしいのですが、より多くの人からリンクを貼って貰えるサイトはそれだけ支持率も高い訳ですから、ある意味で納得です。

しかし、ページランクは外部からのリンクの数だけだとすると、ホームページを持たない人はブックマークをつけるだけですし、やはりより多くの人に見てもらう為には検索サイトへの登録の他に、ページのタイトルの入力と検索する際に入力されるであろうキーワードを予測してページに織り込む以外に方法はありません。なぜなら検索する側はどのようなキーワードで検索するか分かりませんから、様々な用語や類似するキーワードをさりげなく入れると検索にも引っかかりやすいのです。

また、人気サイトからリンクを貰えるように役に立つ情報や、興味を持ってもらうためのページ創りもさることながら更新も重要です。更新の頻度は多ければ多いほど良いのですが、無意味に情報をダラダラと増やすよりは他に無い内容のページや内容の濃いページも必要になります。

私の場合は、その辺のことに無頓着なので、仲間同士でリンクを貼り合う程度ですし、自分のページのカテゴリーに適した専門サイトのリンク集で自薦リンクがあればそこを利用させてもらっています。あとは、専門のサイトでURL入力欄があれば入れるようにしたり、掲示板サイトを利用する際も誰かが質問した答えとして自分のページで紹介してある内容をリンクとして書き込むことが多いです。

ここで注意しなければならないのは、無意味に関係のないサイトに自分のサイトの宣伝をする「マルチポスト」や「宣伝」という行為です。これはエチケット違反であり、貼られた側が貴方のプロバイダやホームページスペース提供先(通称:ISP)に通報することがあります。特にリンクを訪れる度にポイントが加算されるタイプのものや、営利主体のサイトを関係の無い所に貼り付けた場合は、「無断で広告を貼り付けた」という理由で、貼った相手から広告料として請求される場合があります。

最近「アフィリエイト」という小遣い稼ぎのサイトも人気ですが、楽天アフィリエイトでは外部へのマルチポストに対する規制を謳った規約がありませんのでプロバイダーへ直接通報する必要があります。貼り付けられた広告の内容が分かる画面コピーやアクセスログ、IPアドレスやリモートホストなど、分かる範囲で保存しておいてください。重要な証拠になります。

ホームページの目玉

スーパーの特売品のように、人を寄せ付けるための目玉があれば訪問者はある程度稼げます。他のサイトに無いもので、「自分はこれに詳しい」「自分はこれができる」「他ではあまり無いけど自分なら紹介できる」と思いましたらそれを形にしてください。

前のページは私のアクセスログを紹介していますが、正直言って推測です。どこを見ているのか分かりません。アクセス解析は申し込んでいないので分かりませんが、目玉は多分WEB素材付近であろうという事です。面倒でも各ページにカウンターを取り付ける方法もありますが、現実的でもありませんし、はっきり言って普通のHTMLで組んだホームページでは無理です。CGIで各ページを監視するのも面倒ですが、自分のホームページのドメインをGoogleなどで検索するとリンクしてくれているサイトの一覧は出ます。これで閲覧者が何処のページを参照先としているか大体は分かります。

さて、目玉と言っても特定の人にとっての目玉と、万人向けの流行りモノを紹介する目玉があります。これに関しても方向性はホームページを作る人(ホームページ管理者=Webmaster)によって違いますので、各自で工夫が必要です。マニアックだけ見てくれる人は居る場合もありますし、一過性の流行に乗って紹介したのはいいけど、飽きられて誰も見に来なくなるページだってあるでしょう。

そのへんのバランスを考えると、様々なジャンルを紹介するページも魅力的ですが、ページの更新が忙しくて肝心の趣味自体が死んでしまう場合だってあります。色々難しいですよ。

ホームページのブラウザ互換

Mozilla Firefox 1.0 次世代新標準



Opera 7.x 高速表示独自エンジン



IE 5.5~6.0 標準食らい型ブラウザ



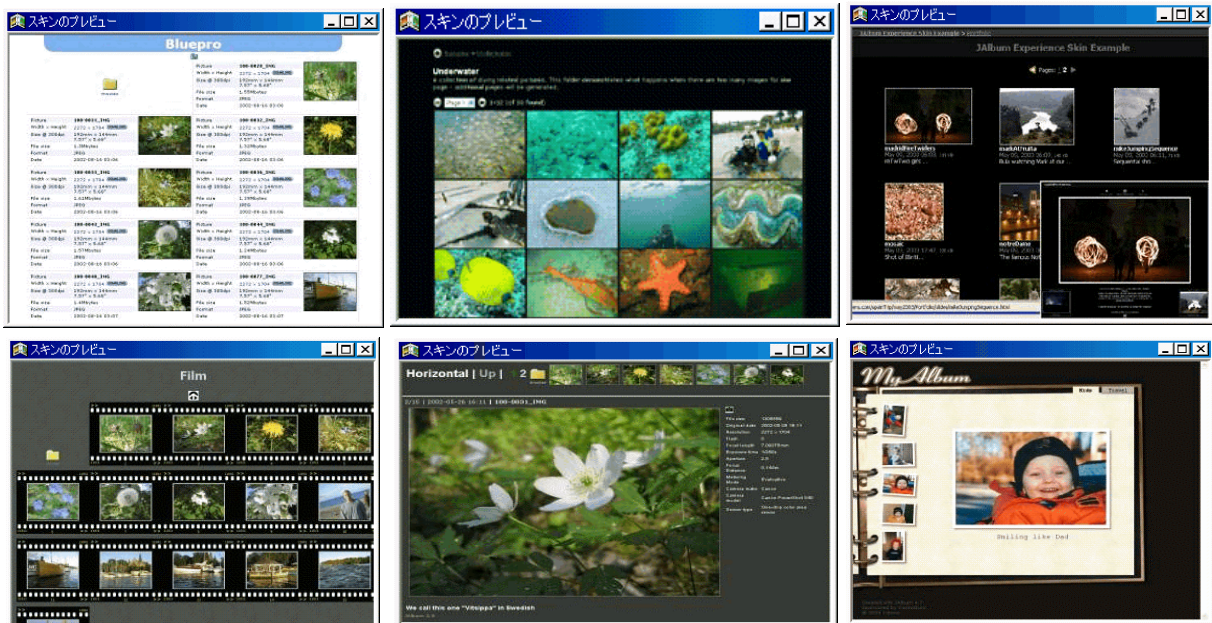
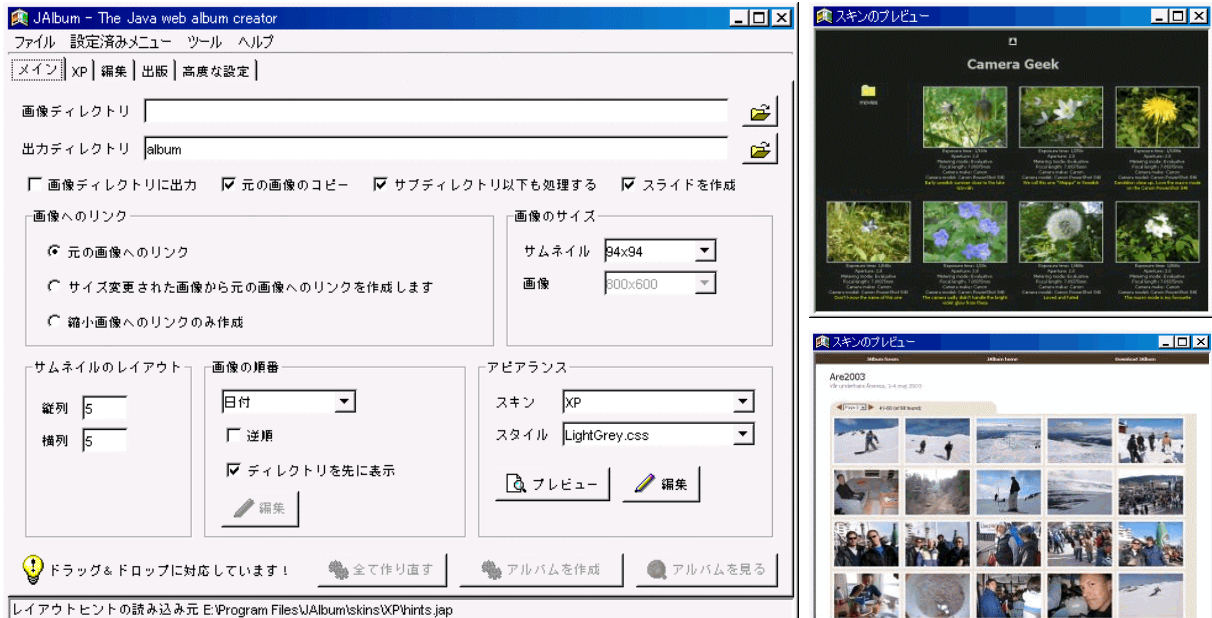
Composer の HTML モードで作成したホームページは上記のブラウザで問題なく表示されます。CSSモードの場合は、Mozilla / Opera は同じ表示になりますが、IE5.5~6.0だけは部分的に異常な表示になる場合があります。でも、Composer が悪い訳ではありませんのでご心配なく。IEの独自拡張と曖昧な解釈、それに標準から脱線した規格が悪いんです。でも、まだまだ世の中の大多数の人はIEの持つリスクをらずにインターネットを楽しんでいます。ただ、Mozilla や Opera にもバグがあります。IEほど膨大ではありませんけど。

ホームページを作る上で上記の3つで表示できるものを目指しましょう。某ビルダーのように、IE の独自拡張や IE の曖昧な解釈にしか対応しないソースを吐き出すソフトは頂けません。はい。IEでの表示を前提にしていると他のブラウザで表示できないページになってしまいますよ。WEB標準。この言葉は皆が幸せになれるキーワードです。

使えるものはドンドン使おう

WEB標準というものは HTML / CSS / XHTML などがW3Cに準拠した正しい記述によって書かれたソースのことをいいますが、部分的にそれぞれのブラウザでは互換性を考えて妥協している部分があります。フリーのホームページ作成支援ソフトの中には優秀なものも多数あります。

例えば、写真が多数収められたフォルダを指定するだけで自動的にアルバム化してくれる JAlbum 日本語版(窓の杜よりDL可能)などは、写真の紹介をするページを一瞬で作成してくれます。私も試してみましたが Firefox で全く問題なく表示されるページを生成します。ページの雰囲気も スキン/スタイル の下の【プレビュー】から確認できるものがサンプルとして半分以上あります。使い方は見れば分かります(これが最も重要)ので誰でも簡単に作れます。実行には Java が必要です。ソフトのインストール前にパソコンへインストールしてください。



カッコイイ写真のページが一瞬で作成できます。難しい事は一つありませんが、Javaをインストールしていることが必須です。Javaはネットをする上で使用頻度が高いプラグインですので、この際にインストールすることをお勧めします。

ダウンロード用のファイルを検査してますか？

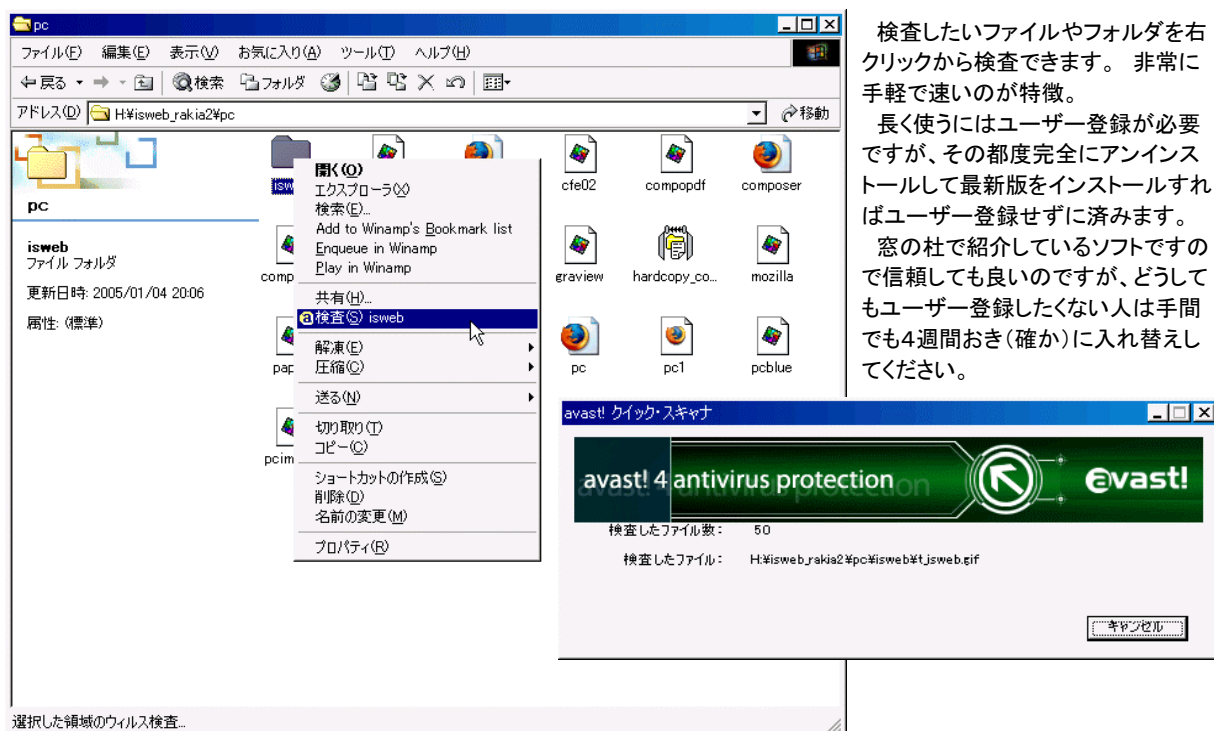
メールに添付するファイル同様、相手にウイルスを感染させないようにファイルをウイルスチェックしてからアップロードしてください。変わったウイルスではGIFやPNGの画像ファイルにウイルスが混じっていて、画像を表示した時に感染するというものもあるらしいです。

圧縮ファイルはもとより、Excelファイルのように非常に感染力の高いファイルも含めダウンロードさせるために用意したファイルは念入りにチェックしてから配布しましょう。

最近では **avast! 4**（窓の杜よりDL可能な個人使用はフリーのウイルス対策ソフト）のようなものもあり、わざわざ買わなくてもネットに必要な対策を行えるようになりました。とにかく自分で色々とソフトを探して使ってみるといのは、このようなフリーで使えるものが自分の力で見つけられるようになりますので、買う前に色々とダウンロードサイトをチェックしてみましょう。高い金を出して、ウイルス対策ソフトにシステムファイルを破壊されるなんてバカらしいですよ？。

何を使うにもリスクを伴うのであれば、無料のソフトを使いましょう。今の所 **avast! 4** でOSに不具合を生じた事はありません。あまりに動作が軽いので、ウイルスチェックを常駐させているという感覚はありません。

いままで使ってた市販ソフトはマシンの速度を半減させるほど重かったのですが、これは入れても入れなくても速度が変わりません。



ページのバックアップ

技術的な問題や難易度とは全く関係ありません。だれでもできることです。ホームページを公開しているホスト側のサーバーでは自分のホームページデータを保証する規約は何処にもありません。各自が各自の責任でバックアップをする事と謳っています。ホームページ公開の為のサーバーはメンテナンス、サービス向上の為や、不具合の修正を定期・不定期で行っています。この際に誤ってホームページのデータを失ってしまうかも知れません。

通常、自分のパソコンで作ったホームページはデータがそのパソコンや、USBメモリーの中に保存されていますのでホスト側のサーバーで謝って削除してしまった場合でも再度アップロードすることで復活できます。ですが、パソコンはネットやソフトウェアのインストール時に外敵から常に狙われています。また、長く使用しているパソコンはゴミが蓄積されていたり、発見できないウイルスによって様々な不具合を起こしている場合もあります。

ある日突然・・・ということは十分に有り得ることです。自分のホームページは自分自身で守ってください。場合によっては攻撃者によってホームページを改変される事だってあるからです。

自分のホームページのデータで、ローカルからホストへ転送したものは自分で修復できますが、もし、掲示板や日記など、CGIでホームページ制作ソフトを通さないWEB上で書き換え・編集できるページなどは、FTPソフトなどでホストサーバーから逆にローカルサーバーへバックアップする必要があります。

ホームページの内容がメインであれば掲示板などはさほど重要ではありませんが、掲示板をメインにしているサイトではそうもいきません。データそのものはテキスト掲示板なら小さいです。画像掲示板ですと写真の量や大きさによりますが相当時間が掛かるかも知れません。ブロードバンド接続なら関係ありませんけど。

この説明書のようなPDFを作りたい

何百回と色んなパターンで試した結果、PDF化するときには画像の劣化を気にせず可能な限り容量を抑える方法が分かりました。ここで説明する方法を習えば可能な限り小さく、可能な限り綺麗な画像を挿入できます。あまり書きたくはありませんが、これをダウンロードしてくれた人だけに教えたいと思います。

まず、このマニュアルは Word なんかより Excel を利用する方が向いています。文章中に隙間を作って画像を貼る場合は微調整を何度か行う必要がありますが、普通に画像を置きたい場合は置いた場所へ正確に張り付きます。

ページの区切りは改ページプレビューを表示しながら作成すると分かりやすいです。適当な文字を1個打って、プレビューを表示します。余白を調整しておいてください。綴じ代の部分を左右均等に残しておいてください。上下はギリギリまで引っ張って結構です。

タイトルに色の付いた帯びと中に白い文字。これはセルに着色して文字を左寄せで白の太字に指定しました。テキストボックスやオートシェイプを使って、中に文字を挿入すると容量を食います。セルを使ってください。

このテキスト部分はテキストボックスを使っています。塗りつぶしは無し。必要に応じて色着きもありますが、色を使ったり、塗りつぶし無しを指定しないと画像として保存されますので容量を食います。通常の文章は塗りつぶし無しです。

画像はJPEGや GIF、PNG を使うよりも BitmapGraphic の方が圧縮率も高く画像の劣化ありません。予め縮小した画像を用意するよりも、原寸の画像をExcel上で任意に縮小してください。圧縮率が高くなります。画像を予め縮小すると色んな部分に中間色が入り圧縮率が低下するからです。極端に小さくする以外は全部原寸のまま挿入してから Excel 上でサイズを変更します。

Bitmap はフルカラーよりも8ビット色(256色モード)に減色してください。減色には D-Pixed を使います。これはVector から入手できます。

PDF化するソフトですが、いきなりPDF(ソースネクストのコンビソフトです)も結構圧縮率が高いです。しかし、更に圧縮率が高いソフトをフリーで見つけました。比較すると20%もサイズを減らせます。PrimoPDFです。これは窓の杜からダウンロードできます。画像の保存方法がちよっと違うようですが、画質に違いは感じません。

共通ですが、300dpi でも 600dpi でもあまり変わりませんので、画質は600dpi を指定します。いきなりPDFは画像の圧縮形式にZipを指定します。PrimoPDFは、ICM Disabled に指定。ICMの目的は Picture か Graphic のどちらかになっていればそのままで結構です。

最後に・・・。

挿入する画像にGIFやPNGを使わないこと。PDFを閲覧したときにスクロールがぎこちなくなります。使うならBitmap です。これは保存する対照が劣化無しの画像の為にPDF化したときに最高な画質になります。JPEGやGIF.PNGが挿入された場合、これらの画像は圧縮された画像ですから、圧縮の圧縮は逆効果で、元の画像のサイズより大きくなってしまいます。

JPEGを圧縮すると、元のサイズより大きくなりますよね？。あれと同じ事です。元々圧縮された画像形式はそれ以上圧縮できません。逆に大きくなる事があります。最初から無圧縮の画像形式を挿入すると何故か圧縮率は圧縮形式の画像を使うより小さくなります。

WEB素材サイトを利用する場合の注意

うちのホームページでもそうですが、基本的に素材サイトには素材に対する著作権が発生します。使用に関しては十分に気をつけましょう。作った人の主張を守ってください。一言掲示板に書く必要のあるところは一言「使わせていただきました」と書きましょう。

うちのは転載不可、加工OK、二次配布不可です。個人・企業の一次利用のみ。商用配布禁止。使うなら勝手にどうぞです。こんな感じでどこかに書き込みがあります。

面倒なら私のように自給自足という手があります。私は人物画も動物画も描けません。トレードマークのグラサン掛けて葉巻を啜った熊はドット絵で作りましたので描いたというのとチョット違います。ドット絵なら描けなくても描けます。謎

素材は何もゼロから作る必要はありません。葉っぱをスキャナで取り込んで、ランダムに散らし、減色してエフェクトを掛け、上下左右をループ化するだけで背景やテクスチャーに使用できるものが簡単(?)に作れますし、模様を自動的に生成するものがあれば、それを利用して二次加工を施します。これはもう説明するよりひたすら描いて慣れるしかありませんが、グラフィックツールのエフェクトだけでも相当数のものを生み出せます。ドットで丁寧に模様を描いてコピー＆ペーストで増やして回転させてみたり、複数の模様を重ねたり。慣れると作るほうが面白くて、ホームページを作るのを忘れている事もしばしば・・・

また、雑誌や写真集。他のホームページの写真を勝手に拝借するのも違法になる場合があります。これらも取り扱いに注意してください。原型を留めないくらい改変してしまえば分からないかも知れませんが、使ってよいのか分からない場合は、当たり前ですが使わないことです。

素材を探す時のキーワードは単純です。フリー素材／フリー写真／WEB素材／著作権フリーなどなど・・・あとは、ホームページ制作の参考サイトのリンク集ですね。[とほほ WWW] これだけで膨大なリンク集のあるサイトに行けます。

タイトルバーを作ろう

四角い画像の中に自分のホームページの宣伝を盛り込みます。これがバナーです。企業など営利が絡むものや広報などの行政のもの。個人のホームページなどバナーにはたくさんの用途と役割があります。

ホームページを別のサイトで紹介して貰う時に用意しておくバナーを見て訪れてくれる人も増えるかも知れません。無いよりは合った方が良いでしょう。味気ないより見栄えや何のサイトなのか分かるバナーの方がもっと良いでしょう。

でも、あまりバナーのサイズや容量が大きいと使って貰えないこともあります。バナーのサイズは様々ありますが、一応標準的な縦横のサイズが決まっています。ここではバナーについて少し触れてみましょう。

468×60ピクセル(フルサイズバナー)

392×72ピクセル(縦型ナビゲーションつきフルバナー)

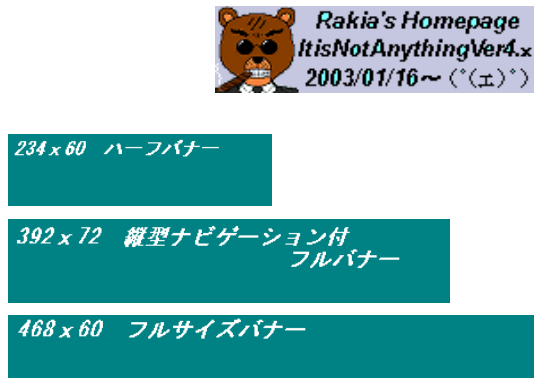
88×31ピクセル(マイクロボタン)

234×60ピクセル(ハーフバナー)

120×240ピクセル(縦型バナー)

120×90ピクセル(ボタン1)

120×60ピクセル(ボタン2)



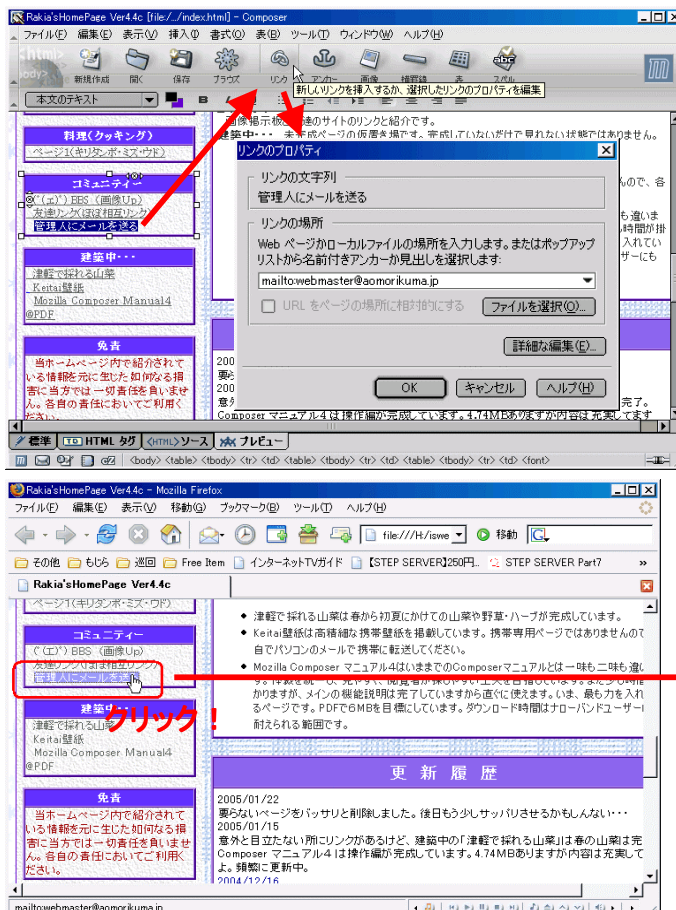
バナーは通常、GIFやPNGで作ります。写真や多色グラフィックを多用する場合はJPGで作ったほうが容量が少なく済みます。また、アニメーションするバナーは普通、GIFを使ってあります。

自分の作ったバナーが、GIF/PNG/JPGのいずれのファイルタイプで容量が最低となるか複数作成して試みましょう。ちなみに、最初はBitmapで作成し、それらをGIF/PNG/JPEGへ変換する事をお薦めします。最初にJPEGで作成すると目に見えない中間色が大量に発生するからです。中間色が増えて同時使用色数が増えると圧縮率が著しく低下するからです。

クリックするとメーラーが起動する

W3C規格外

ホームページ中にあるメール(手紙)の絵や、メールという文字をクリックすると、通常使用する設定になっているメーラーが起動します。これはどうやってやるのかと言いますと、それらのプロパティを見ると普通のリンクとは違う記述がされていることが分かります。



画像でも文字でもリンクとして挿入できますからお好きな方をどうぞ。

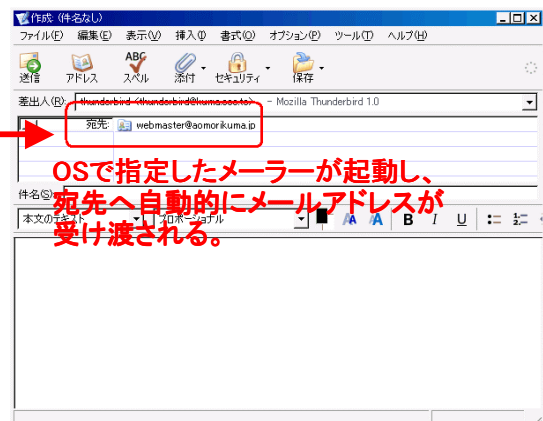
方法は簡単です。

リンクとして

mailto:メールアドレス

と入力するだけです。

あとはブラウザからそのリンクをクリックすると通常使用するメーラーが起動して、宛先にそのメールアドレスが自動的に入ります。



ブラウザで開いて、実際にクリックし、メーラーが起動するか実験しましょう。

※W3Cから排除された機能ですが殆どのブラウザで使えます。

見事にメーラーである Thunderbird が起動しました (^ε^;) 当たり前だってば・・・